

「本リリース御案内は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成24年4月16日

nite National
Institute of
Technology and
Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター

電子レンジ及び電子レンジとの組み合わせで使用される 製品の事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井 至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、電子レンジ及び電子レンジとの組み合わせで使用される製品の事故（以下、電子レンジが関係する事故（※1）という。）は、事故発生日で見ると平成18年度から平成22年度の5年間に706件ありました（※2）。被害の状況は、重傷事故が16件、軽傷事故が57件、拡大被害は107件でした。1室以上の火災（※3）は12件でした。

また、電子レンジが関係する事故のうち、電子レンジの事故が606件、電子レンジとの組み合わせで使用される製品の事故は100件でした。

電子レンジが関係する事故706件のうち、製品に起因すると考えられる事故及び調査中の事故を除く423件について、事故発生状況を現象別に分析すると、次のような事故が多く発生しています。

- ① 庫内に汚れが付着したまま加熱、炭化し発火。
- ② ほ乳びん用消毒バッグで乳首を付けたまま消毒、ほ乳びん内圧が上昇し破裂。
- ③ 食品を過加熱、炭化し、発煙・発火。
- ④ 基板上に異物が付着してショートし、発煙・発火または誤作動。
- ⑤ 電子レンジで加熱して使用する製品を過加熱、容器が溶融・破損。
- ⑥ 過加熱による突沸。（※4）

電子レンジが関係する事故は、「原因不明のもの」及び「調査中のもの」を除くと、「設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの」や「誤使用や不注意な使い方と考えられるもの」による事故の比率がそれぞれ高くなっています。また、使用開始から1年未満での事故も多く発生しております。社告・リコール情報の周知徹底も含め、正しく製品を使用することで、事故を防止するため、注意喚起することが必要と考え、記者説明会を開催いたしますので、御案内します。

（※1）電子レンジで食品や水、皿を用い調理を行った際に生じた事故及び電子レンジとの組み合わせで使用されるほ乳びん用消毒バッグ、ゆたんぼ、ふろ湯保温器、ポップコーンメーカー等で発生した事故も含む。

（※2）平成24年3月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

（※3）壁や畳、ふすま等の建物や建具の一部以上が焼損をした火災のこと。

（※4）突沸とは、沸騰が起きないまま加熱が続き、小さな衝撃などで一気に沸騰が起きること。

1. 記者説明会について

日時：平成24年4月19日（木曜） 10：00～（開場9：00）
場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加御希望の方は、平成24年4月18日（水曜）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へ必ず御連絡ください。
会場の準備のため必要ですので、御協力くださいますようお願いいたします。

2. 説明する内容

NITEに通知された「電子レンジ及び電子レンジとの組み合わせで使用される製品」の事故の状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。
また、再現実験映像をご覧いただけます。

3. 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区）では、入館管理システムを運用しております。
入館時： 受付で外来者用入館許可証をお渡しますので、ゲートにかざして入館してください。
（館内では許可証を首から吊るしてください。）
退出時： 許可証を受付に返却してください。
御手数をお掛けしますが、御協力くださいますようお願いいたします。

（本件に関するお問い合わせ先）

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全調査課長 葛谷（くずや）
担当者 亀井、山城
電 話 06-6942-1113

製品安全センター製品安全調査課（記者説明会前日）
担当者 葛谷、亀井、山城
電 話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課
担当者 葛谷、亀井、山城
電 話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課
担当者 葛谷、亀井、山城
電 話 06-6942-1113